



社会福祉法人  
京都視覚障害者支援センター

## 2022 年度 事業報告

【法人理念】 希望に満ちた成長への喜び

【行動指針】 働く力、よりよい生活、あなたの能力や可能性に合った  
自立に向けての支援を行ないます

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67  
社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター  
TEL075-333-0171 FAX075-333-0172  
Email: info@kyo-ssc.com

## 目 次

|    |                                    |    |
|----|------------------------------------|----|
| I  | 2022年度 法人概要                        | 1  |
| II | 各部門別報告                             | 2  |
| A. | 障害者支援施設「洛西寮」                       | 2  |
|    | 支援計画（ステップアッププラン）の活用                | 2  |
|    | 1. 就労継続支援B型「らくさい作業所」               | 2  |
|    | 2. 生活支援                            | 4  |
|    | 3. 施設入所支援（夜間支援）                    | 4  |
|    | 【各サービス内容】                          | 5  |
|    | 1. 健康管理                            | 5  |
|    | 2. 食生活と栄養管理（衛生管理含む）                | 7  |
|    | 3. 歩行訓練                            | 8  |
|    | 4. 余暇活動支援                          | 8  |
|    | 5. ボランティア支援サービス                    | 9  |
| B. | 三療事業部                              | 10 |
|    | 1. 美鈴治療院（4月～9月 盲人ホーム美鈴）            | 10 |
|    | 2. 就労継続支援A型「らくさい治療院」               | 10 |
| C. | 法人                                 | 11 |
|    | 1. 事務局                             | 11 |
|    | 2. 点字出版施設「紫野点字社」                   | 14 |
|    | 3. 京都府失明者巡回生活指導員派遣事業               | 14 |
|    | 4. 指定特定相談支援事業「障害者相談支援事業所 スマイルサポート」 | 15 |
|    | 5. 主催行事                            | 16 |
|    | 6. 共催事業                            | 16 |

# I 2022年度 法人概要

## はじめに

2022年度は、2020年から続くコロナ禍に加え物価高と言う社会情勢の中、3年目を迎える洛西寮B型一体化に一定の成果があったことと、2つの三療事業所においては、2022年10月に新たにAB多機能型としてスタートし、実績においても検討できた年となった。

### 1. 洛西寮について

成果として、まずは、2022年夏頃に新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあったが、感染拡大を最小限に抑えることができた。そして、コロナ禍により通常運営ができない中、限られた職員数での作業や生活への一定の水準を維持した支援ができた。

また、近隣府県への広報活動により、府下の地域生活支援センターの協力のもと、1名入所利用者へ繋がった。

一方、課題として、まずは、新型コロナウイルスが5月8日から5類になることにより、通常運営に戻ることを想定しての、年間行事の再開及び登録ボランティアの養成と募集に努め、引き続き、歩行訓練の継続やICTの操作に関するサポートを促進し、利用者の生活の充実を図る。

### 2. らくさい治療院、美鈴治療院（AB多機能型）について

成果として、まずは、2022年度も新型コロナウイルスの変異株により、らくさい治療院、美鈴治療院ともに、不特定多数の患者の来院による感染拡大の懸念があったが、幸い大きな影響はなかった。利用者、職員いずれも日々のコンディションの調整と感染予防を徹底したことにより、感染者数を最小限に抑えられた。

実績においては、らくさい治療院は、患者数、売上ともに前年を超える結果となり、加えて、2019年の患者数、売上を超える結果となった。

美鈴治療院は、2022年10月より盲人ホームから就労継続支援B型として新たにスタートし、B型のシステムの構築と利用者確保へと繋ぐことができた。

一方、課題として、2023年4月から本格的に始まる物価高と、広がりつつあるインフレーションの影響を想定し、施術・接遇・清潔この3つのSの強化と、加えて、広告宣伝の強化を図り、患者数・売上アップを目指す。

### 3. 法人経営戦略会議から

現在、議論の中心は視覚障害当事者の高齢の親と当事者の年齢を示した8050問題である。

2021年4月から2023年2月の間に5名の8050問題の当事者が洛西寮の入所へ繋がった。

「70-40、80-50、90-60」問題は大きな社会問題の一つとされている。

生活を支えていた親の高齢化による心身の状況等の変化によって、当事者の生活環境は激変し、社会からの孤立、引きこもり等、支援の必要性が高まることは容易に想像できる。当法人だけではなく、視覚障害関係団体全体でこの8050問題と向き合い取り組む時が来ていると考える。これから30年75歳以上の人口は増え続けると言われている中、視覚障害関係団体全体

の繋がりをさらに強固なものとし、新たな役割を担っていくことが我々の使命であると考え

る。  
この問題を皆で共有し、知恵を出し合い、新たな役割を果たせるよう努めていく。

## II 各部門別報告

### A. 障害者支援施設「洛西寮」

#### 支援計画（ステップアッププラン）の活用

##### 【概要】

生活面及び作業面の達成度が、個別に正しく段階的に把握できるように作成した評価表を用い、アセスメントを深め利用者のニーズを十分に考慮した上で、当法人の理念及び行動指針に基づき、できるだけ具体的な支援計画を作成した。「ステップアッププラン」という名称にして、目標にむけてステップアップしたことが実感できることで利用者のモチベーションを上げ、法人理念である「希望に満ちた成長への喜び」に繋がる支援となるよう努めた。

#### 1. 就労継続支援B型「らくさい作業所」

##### 【概要】

作業の効率を目的とした「作業場のレイアウト変更」、作業支援・生活支援を両立するための「プログラム表の作成」からB型一体化3年目がスタートした。プログラム表の作成は初めての試みだったが、試行錯誤しながら限られた職員数の中、一定の水準を維持した支援をすることができた。

作業量は新規の作業も入ってくるなど過去2年と比べても多く、秋の繁忙期には作業時間を延長して対応した。利用者の頑張りもあり、重なった受注にも応えることができた。点字作業においても、全職員の関わりのもと滞ることなく製作することができた。

また、作業場のレイアウト変更と併せて職員デスクも集中化したことでコミュニケーションが活性化し、より良い支援へと繋げることができた。

##### 【成果】

- ① 作業環境の改善
- ② 作業支援・生活支援両立のためのプログラム表の作成
- ③ 限られた職員数の中での一定の水準を維持した支援
- ④ 点字データ作成における連携した取り組み
- ⑤ 利用者・職員のスキルアップによる売上向上
- ⑥ 職員間のコミュニケーションの創出

**【課題】**

- ① 限られた職員数の中での後進育成機会の確保
- ② 生活支援（入所支援）とのバランス
- ③ 工賃向上への取り組み

**【実績】**

## ① 作業科目一覧

| 科目     | 内容  |
|--------|---|
| 点字印刷   | 市民しんぶん、市会だより、京都市部局情報誌、盲導犬協会情報誌  |
| 封入発送作業 | 市民しんぶん拡大版、市民ニュースポスター  |
| ミシン縫製  | 下請：和装用袋、ヒモ通し、袋物、カバンの込み入れ作業、おみくじ・お守り等<br>自主製品：給食袋・体操服入れ・白杖入れ・手提げ袋・マスク等 |
| 箱作業    | 京菓子箱：八つ橋・京の夢丸   |
| 数珠加工   | 数珠玉通し   |
| 黒豆茶    | ティーパックの袋詰め作業  |

## ② 売上（単位：円）

| 科目   | 2022 年度    |
|------|------------|
| 点字   | 10,558,105 |
| 自主製品 | 387,171    |
| 縫製下請 | 335,495    |
| 箱作業  | 814,330    |
| 数珠加工 | 47,700     |
| 黒豆茶  | 179,380    |
| 自販機  | 285,726    |
| その他  | 22,239     |
| 合計   | 12,630,146 |

## ③ 工賃

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり) ②÷③ | 平均工賃時間<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------|
| 2021 | 431 月        | 33,697 時間   | 9,422,109 円   | 21,861 円              | 280 円         |
| 2022 | 446 月        | 35,726 時間   | 8,054,192 円   | 18,059 円              | 225 円         |

## 2. 生活支援

### 【概要】

生活支援と作業支援の両立のためのプログラム表を作成し、試行錯誤しながら個々のニーズに合わせた支援を行った。「知らない」「聞いていない」を無くすため、毎日のミーティングで些細なことでも報告し合い共通認識に努めた。

また、歩行訓練士の入職により歩行訓練も積極的に実施し、移動範囲の拡大による生活の充実だけでなく、将来のひとり暮らしに向けた取り組みも実施した。

月1回の居室支援（清掃）では、利用者の自主的な意識が生まれ、衛生環境の維持にも繋げることができた。

### 【成果】

- ① 個々のニーズに合わせた支援の提供
- ② 歩行訓練による生活の充実
- ③ 居室支援による衛生環境の維持、意識の定着

### 【課題】

- ① コロナ禍における余暇活動へのアプローチ
- ② 作業支援とのバランス
- ③ 限られた職員数の中での法人理念に沿った支援

### 【実績】

| プログラム  | 内容                       |
|--------|--------------------------|
| 買い物支援  | 近隣の商店や桂川イオンへの買い物同行や計画の支援 |
| シーツ交換  | 必要な利用者に対して、寝具を整え、衛生管理支援  |
| 一斉居室支援 | 居室の衛生保持のための清掃支援と整理整頓の支援  |

## 3. 施設入所支援（夜間支援）

### 【概要】

年度当初 26 名の入所利用者からスタートとなった（定員より 4 名減）。施設利用者の動向では、新規入所利用者が 3 名、退所利用者は 3 名で期末の入所利用者は 26 名となった。

8 月に入所利用者の新型コロナウイルス感染者が利用者 3 名・職員 1 名に発生したが、完全隔離の環境と介助者の感染防止態勢の徹底により、感染拡大を防ぐことに成功した。

定員を満たすための利用者確保の取り組みは、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けながらも積極的な広報活動を徐々に再開し、他府県の訪問訓練・相談事業所の訪問や地域生活支援センターや社会福祉協議会へのチラシの郵送などを行った。

## 【成果】

- ① 利用者確保にむけての取り組み
  - ・近畿圏内の地域生活支援センターと社会福祉協議会へチラシを送付。
  - ・他府県の訪問訓練・相談事業所を訪問。
    - 神戸アイライトを訪問し、お互いの事業の情報交換。洛西寮の特徴や社会的役割を改めて説明し、いわゆる 8050 問題を抱える家庭の視覚障害者の受け入れ先としての実例を紹介した。
  - ・盲学校や総合支援学校からの体験実習者や見学の受け入れ。
  - ・福祉事務所や支援センターからの問い合わせへの対応。
- ② 新型コロナウイルス感染者発生時の対応
  - ・入所利用者感染拡大を防ぐため、隔離と感染予防対策を徹底した上での支援。
- ③ 新型コロナウイルス感染症予防の徹底
  - ・感染防止対策についての職員への周知。
- ④ 支援員間の連携・情報共有の強化
- ⑤ 休日や夜間の緊急対応時の連絡体制を整備し、支援員間の情報共有のしくみを確立
- ⑥ 緊急用カルテの定期的な更新を実施し、最新情報を保持
- ⑦ 夜間を想定した防災訓練の実施により消防署との連携

## 【課題】

- ① 入所利用者の定員確保への取り組み
- ② コロナウイルス感染等緊急時の態勢作り(持続性と業務標準化)
- ③ 日直者・夜勤者との密なコミュニケーションと資質向上にむけた働きかけ
- ④ 基本理念や行動指針に基づいて行う支援の徹底

## 【各サービス内容】

### 1. 健康管理

#### 【概要】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策の情報共有と実施。最新情報の取得とマニュアルの更新。
- ② 利用者個々の目標やニーズ、課題に即した支援計画の実践。
- ③ 単独通院が困難な利用者、または急病の利用者に対して、通院介助及び入院時の支援。

#### 【成果】

- ① 新型コロナウイルス感染症が始まって以来、初めて陽性者が確認された。各関連機関への速やかな報告と情報共有、感染者と非感染者の階を分けたゾーニング等の初動対応、PCR 検査や職員の人員配置等、迅速且つ徹底した感染拡大防止策を講じ、クラスター発生を防止することができた。

- ② 運動療法が必要な方や日常の運動不足解消について、外出制限中でも行えるよう、施設内に設置されている運動器具の使用を勧めた。適宜、職員も一緒に行うことでモチベーション維持に努め、運動が定着化した利用者もいる。
- ③ コロナ禍を経験したことで、以前より自身の健康について考える利用者が増えた。他職種と連携し、一人ひとりの個性を大切にしながら働きかけを行った。

**【課題】**

- ① 新型コロナウイルス感染症の分類変更後における感染対策の実施
- ② 健康への意識づけの継続と、健康維持に向けた利用者の自発的行動と定着化
- ③ 楽しみながらの体力づくり

**【実績】**

① 利用者の健康診断等の実施状況

| 期日   | 実施内容   | 対象者                | 人数  | 実施者等       | 実施場所       |
|------|--------|--------------------|-----|------------|------------|
| 毎月1回 | 嘱託医健診  | 希望者(7・2月は全員)       | 132 | 洛西寮嘱託医     | 洛西寮医務室     |
|      | 寮内健診   | 全員                 | 390 | 洛西寮看護師     | 洛西寮医務室     |
| 6月   | 基本健診   | 全員                 | 36  | 鳥羽健診クリニック  | 洛西寮        |
| 6月   | 胃がん検診  | 50才以上希望者           | 2   | 医療機関       | 洛西シミズ病院    |
| 7月   | 耳鼻科健診  | 希望者                | 13  | 医療機関       | 豊田医院       |
| 7月   | 大腸がん検診 | 40才以上              | 10  | 京都予防医学センター | 洛西支所       |
| 10月  | 子宮がん検診 | 20才以上女性<br>(2年に1回) | 1   | 医療機関       | 洛西ニュータウン病院 |
| 11月  | 歯科検診   | 希望者                | 6   | 京都府歯科医師会   | 洛西寮        |
| 12月  | 乳がん検診  | 40才以上女性<br>(2年に1回) | 3   | 京都予防医学センター | 洛西支所       |
| 2月   | 眼科検診   | 希望者                | 5   | 医療機関       | 洛西ニュータウン病院 |

② 通院件数

| 年度     | 通院件数           |
|--------|----------------|
| 2017年度 | 488 (うち介助 335) |
| 2018年度 | 434 (うち介助 342) |
| 2019年度 | 416 (うち介助 348) |
| 2020年度 | 260 (うち介助 210) |
| 2021年度 | 285 (うち介助 224) |
| 2022年度 | 282 (うち介助 212) |

## 2. 食生活と栄養管理（衛生管理含む）

### 【概要】

利用者の栄養状態の維持や改善、食生活の質の向上を図る為には、作業を含めた生活全般を考える必要がある。栄養面を含めた支援計画会議等を通じて、多職種と連携しながら個々の特性・体調面に配慮した支援とその検討を行った。又、食事面では、献立や調理方法を工夫するとともに、給食委員会を開催し給食業者と情報共有と調整を計った。今年度は、更なる食事サービスの向上を目的とした委託業者の選定（プロポーザル）を行った。

衛生面に関しては、入所者が新型コロナウイルス感染症に罹患する場面もあったが、他職種との連携により、初期罹患者のみで押さえることができた。

### 【成果】

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患する利用者があったが、看護師の指示のもと、衛生面に配慮し、罹患者のトレイは使用后、次亜塩素酸消毒、食器は Disposable 食器の使用で問題無く食事提供ができた。
- ② 引き続き HACCP（衛生管理の国際的な手法）感染症対策マニュアル、殺菌基準等の周知徹底を図った。
- ③ 発熱・感染症（隔離）時の食事提供と、粥・きざみ食等の臨機応変の対応を行った。
- ④ 食堂のテーブルにパーテーションを設置し、飛沫感染予防に努めた。
- ⑤ 適時・適温での食事提供を目指し、盛り付けおよび配膳の徹底を行った。
- ⑥ 誕生月のリクエストメニューや、鍋料理、ティータイムは手作り菓子を中心とし、好評を得ることができた。
- ⑦ 医師の指示に従った療養食の提供と、個人に則した栄養指導を実施した。
- ⑧ 委託業者選定を行い、現在の委託業者（一富士）と他業者一社とのプロポーザルにより厳正な審査の結果、現在の委託業者が引き続き給食委託をすることに決定した。

### 【実績】

- ① 健康状態・食事状況・生活習慣等を把握し、日々健康で働き続けられるよう、多職種（支援員・看護師・栄養士）との連携により生活支援を行った。
- ② プロポーザルを行うことにより、給食会社に緊張感が生まれ、盛りつけや味付けについては向上した。また給食会社担当との連携が脆弱だった為に起こった問題について、再契約の際に改善にむけて働きかけた。

### 【課題】

- ① 利用者個々の特性を重視する余り、体重増加が見られる利用者もいる為、検査値上昇の可能性が懸念される。
- ② 来年度は委託給食会社栄養士の配置替えがあるので、新任の栄養士の業務内容を給食業務全般衛生含め、見守る必要がある。

### 3. 歩行訓練

#### 【概要】

利用者個々のニーズ・歩行技術に合わせ視覚障害者の歩行に関する訓練を実施した。

#### 【内容】

- ① 新しい利用者等に対する施設館内でのファミリアリゼーション（環境理解）
- ② 通所利用者に対する単独通所のための歩行訓練
- ③ 入所利用者に対する単独歩行で帰省するための歩行訓練
- ④ 利用者に対する白杖基本操作獲得・道路などの環境構造理解・状況把握
- ⑤ 利用者に対する寮周辺店舗や歯科までのファミリアリゼーション（環境理解）
- ⑥ 利用者に対するQOL向上を実現する社会参加のための歩行訓練
- ⑦ 利用者に対する店舗などでの実践を想定した社会適応訓練

#### 【成果】

- ① 新規利用者等に対して洛西寮館内のオリエンテーションを行い、施設利用をスムーズにしている。
- ② 洛西寮から近隣の商店や医療施設までの歩行訓練により日常生活の行動範囲を拡大し、日常生活の自立を支援している。
- ③ 単独外出から遠のいていた利用者に対し、白杖基本操作の再確認や、道路環境などの把握、ファミリアリゼーションの実施に努め、単独で出歩くきっかけをアプローチした。

#### 【課題】

- ① 白杖での単独歩行を一から身に付けたいという方のニーズに十分対応できていない。
- ② コロナ禍で公共交通機関を利用するような外出を想定した訓練にあまり時間を割くことができなかった。

### 4. 余暇活動支援

#### 【概要】

前年、前々年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大する中、寮の外部との交流を持つことは困難で、コロナ以前に講師を招いて行っていた月に1回のヨガ、音楽(合唱指導)、ボランティアとの学習機会である週に1回の選択科目点字・社会などは中止を余儀なくされた。主催行事として行っていた春と秋の外出(例年観光バスによる遠足など)、洛西寮まつりなども中止せざるをえなかったが、外出機会の少ない利用者の余暇活動として形を変えて、近所の公園へのお弁当持ちでの散策やホールでのお楽しみ会にするなど、運動不足解消と精神面のリフレッシュを目的とした活動を行うことができた。

#### 【成果】

- ① 春と秋に1回ずつ、片道徒歩30分程度の公園で、弁当持ちの散策を実施した。
- ② 秋にお楽しみ会を開催し、ゲームや茶話会などのリフレッシュ企画を実施した。

- ③ 朗読ボランティアと洛西寮自治会のコラボ企画で、録音物を使って朗読劇の鑑賞会を実施し、ボランティアと利用者の交流も図ることができた。

**【課題】**

- ① 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後の家族や地域の人との交流
- ② 視覚障害者団体や地域のボランティア団体との交流
- ③ リフレッシュや運動不足解消を目的とした企画を増やすこと

## 5. ボランティア支援サービス

**【概要】**

総勢 28 名の登録者があったが、コロナの影響で外出行事は職員のみで対応した。館内への出入りもできず、作業のお手伝いも依頼できず、朗読ボランティア以外は活動していただく機会がなかった。

**【成果】**

朗読ボランティアによる毎週月曜日の「こんな話あんな話」、土曜日には月 2 回程度の対面朗読を復活させ、実施していただいた。視聴覚室が密にならないように時間差で入室し活動していただき情報提供できた。

**【課題】**

コロナ禍の状況が落ち着き、以前の様に行事などが行われた時にどれだけのボランティアに活動していただけるか、高年齢化もあり、新しいボランティアの確保に努めたい。

**【実績】**

- ① ボランティア登録者数 29 名
- ② ボランティア活動実績

| 活動内容 | 延人数 |
|------|-----|
| 作業   | 0   |
| 朗読   | 295 |
| 選択科目 | 0   |
| 手引き  | 0   |
| 行事   | 0   |
| 合計   | 295 |

## B. 三療事業部

### 1. 美鈴治療院（4月～9月 盲人ホーム美鈴）

#### 【概要】

2022年度も、新型コロナウイルス感染予防に努め、施設運営への影響を最小限に防ぐことができた。このような状況の中、2022年10月1日より盲人ホームから就労継続支援B型に移行し 治療コース、営業日など一新できた年となった。

#### 【成果】

- ① 関係機関との繋がりにより、そこから利用者2名増に繋がった。
- ② 2つの盲学校の見学、実習を受け入れたことにより繋がりができた。
- ③ 利用者が外部の専門機関へ見学、実習ができたことにより、モチベーション向上へ繋がった。
- ④ 3年ぶりの船岡スタンダードへの参加により、人や他施設との交流の大切さを実感した。
- ⑤ 就労継続支援B型のコンプライアンスを遵守した支援体制が確立できた。

#### 【課題】

- ① スキルチェックを強化し技術の向上と患者数UPを図る。
- ② より良い対人関係の構築とそれを維持する力を身に付ける。
- ③ 学習会を充実させ得意分野の知識を身に付ける。
- ④ 患者数、売上、前年101%を目指す。

#### 【実績】

- ① 年間患者数=3,751名（前年比98.3%）、
- ② 年間売上=12,903,700円（前年比99.7%）
- ③ 平均工賃（10月～3月）

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり)②÷③ | 平均工賃時間額<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|
| 2022 | 43月          | 6,835時間     | 5,785,381円    | 134,544円             | 846円           |

### 2. 就労継続支援A型「らくさい治療院」

#### 【概要】

2022年度もコロナの状況は続いたが、患者数、売上ともに前年を上回る結果となった。そして、患者数及び売上が最も高かった2019年度も上回る結果となり、健闘できた年となった。

これは、10年間継続してきたスキルアップの試みが結果となって現れ、地域に必要とされる治療院として認識されたと実感している。

## 【成果】

- ① コロナと物価高の状況の中でも患者数・売上が前年を上回った。
- ② スタッフ個別月別指名数が10人中7人上昇した。
- ③ 施術の再現性の方程式を意識するスタッフが増えた。
- ④ プロとしてコンディションの調整を意識するようになった。

## 【課題】

- ① 受付でのスタッフの電話対応。
- ② 施術中の患者との距離感と傾聴の姿勢。
- ③ スタッフ個別の施術の再現性の方程式の確立。
- ④ スタッフの施術プランの管理。

## 【実績】

- ① 年間患者数=6,477名（前年比103%）月平均名
- ② 年間売上=22,555,200円（前年比105%）
- ③ 平均賃金

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり)②÷③ | 平均工賃時間額<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|
| 2021 | 120月         | 16,063時間    | 19,432,458円   | 161,937円             | 1,210円         |
| 2022 | 120月         | 16,166時間    | 19,934,209円   | 166,118円             | 1,233円         |

- ④ 年度別月平均個別指名数の推移（%）

| 年度   | S氏   | Y氏   | N氏   | O氏   | K1氏  | T氏   | K2氏  | S氏   | I氏   | H氏   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2021 | 68.1 | 68.3 | 57.5 | 42.8 | 41.8 | 41.6 | 32.1 | 24.8 | 13.3 | 11.6 |
| 2022 | 69.7 | 66.5 | 56.8 | 46.3 | 42.8 | 39.8 | 32.6 | 25.8 | 16.8 | 15.9 |

## C. 法人

### 1. 事務局

#### 【成果】

- ① 法人運営  
・経営戦略会議の設置運営

| 月 | 日  | 主な内容                         | 出席者数 |
|---|----|------------------------------|------|
| 4 | 27 | 巡回相談のデータ検証、ICT機器活用相談事業       | 7名   |
| 5 | 12 | 2021年度事業報告及び決算・啓発広報計画・京都府訪問  | 7名   |
| 6 | 22 | 京都府訪問報告・らくさい作業所作業内容・魅力ある施設とは | 8名   |

|    |    |                                 |    |
|----|----|---------------------------------|----|
| 7  | 20 | 広報活動委員会から・就労系サービス在宅利用について       | 7名 |
| 9  | 28 | 美鈴B型移行状況報告・広報活動の詳細・京都府訪問について    | 7名 |
| 10 | 26 | 京都西支援学校進路について・80-50問題と法人の役割     | 7名 |
| 11 | 30 | 給食業者選定のためのプロポーザルの実施について・洛西寮の方向性 | 7名 |
| 12 | 21 | 80-50問題について・ポストコロナに向けて・洛西寮の方向性  | 7名 |
| 2  | 8  | 2022 成果と課題・ボランティア受入マニュアル・農福連携   | 7名 |
| 2  | 22 | 2023 年度事業計画及び予算案・経営戦略会議まとめ      | 7名 |
| 3  | 29 | 2023 年度経営戦略会議について               | 7名 |

## ② 広報活動

- ・ホームページによる情報発信
- ・YouTube 作成
- ・Twitter による洛西寮の活動発信
- ・チラシ配布（約 300 件 近畿圏 支援センター・社協 1月12日）
- ・視覚障害相談事業所訪問 神戸アイライト（12月13日）
- ・柳谷観音訪問（1月24日）
- ・機関誌「楽西（らくさい）」の発行 年2回（8月と1月）

## ③ 行政関係

- ・就労継続支援B型「美鈴治療院」事業指定認可 10月1日
- ・定款変更 10月1日
- ・京都市指導監査（施設）2月28日 施設運営における是正又は改善での文書指摘なし

## ④ 助成金等関係

- ・特定就職困難者雇用開発助成金（400,000円）
- ・障害者雇用納付金制度報奨金（4,284,000円）
- ・物価高騰支援金（148,183円）

## ⑤ 職員研修による支援力向上と虐待防止への取組みによる資質向上。

## ⑥ 京都市の点字印刷物を障害者優先調達推進法による随意契約で受注し、らくさい作業所の安定した仕事量と工賃を確保。

## 【課題】

- ① 経営健全化を目的とした事業のあり方検討 ※経営戦略会議にて継続検討中  
法人の社会的役割とニーズ、事業規模、体制とのマッチング
- ② 洛西寮利用者獲得（広報・支援サービスの明確化と発信）
- ③ 将来に向けた人事構想

- ④ 人事考課とそれによる給与規程改定と、再雇用規程改定の検討
- ⑤ 建築基準法定期検査における建物の是正箇所の修繕

## 【実績】

### ① 事業運営

| 事業(所)名                          | サービス事業                          | 事業開始年月日                 | 定員  |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------|-----|
| 障害者支援施設 洛西寮<br>・洛西寮<br>・らくさい作業所 | 施設入所支援 (30名)<br>就労継続支援 B型 (40名) | 2011年10月1日<br>2013年4月1日 | 40名 |
| 点字出版施設 紫野点字社                    | 点字出版事業                          | 1982年4月                 |     |
| 京都府中途失明者巡回生活<br>指導員派遣事業         | 訪問相談事業                          | 1977年10月                |     |
| 盲人ホーム美鈴(4月～9月)                  | 地域生活支援事業                        | 1982年4月                 | 20名 |
| 美鈴治療院(10月～3月)                   | 就労継続支援 B型                       | 2023年10月                | 10名 |
| らくさい治療院                         | 就労継続支援 A型                       | 2013年4月1日               | 10名 |
| 障害者相談支援事業所<br>スマイルサポート          | 特定相談支援事業                        | 2014年3月1日               |     |

### ② 理事会・評議員会の開催

#### ・理事会

| 月  | 日  | 主な内容                       | 出席者数      |
|----|----|----------------------------|-----------|
| 5  | 25 | 2021年度事業報告並びに決算案について       | 理事8名 監事2名 |
| 9  | 14 | 美鈴治療院の保健所への施術所登録名称について(書面) | 理事8名 監事2名 |
| 12 | 14 | 苦情解決第三者委員の選任について           | 理事8名 監事2名 |
| 3  | 8  | 2022年度事業計画(案)及び予算(案)について   | 理事8名 監事2名 |

#### ・評議員会

| 月 | 日  | 主な内容                 | 出席者数  |
|---|----|----------------------|-------|
| 6 | 11 | 2021年度事業報告並びに決算案について | 評議員8名 |

#### ・監査会

| 月 | 日  | 主な内容                 | 出席者数      |
|---|----|----------------------|-----------|
| 5 | 17 | 2021年度事業報告並びに決算案について | 理事2名 監事2名 |

### ③ 法人登記事項

- ・資産の変更登記(6月23日)
- ・美鈴治療院設立にともなう目的の変更登記(10月7日)

## 2. 点字出版施設「紫野点字社」

### 【概要】

京都市の広報物や会議資料等を中心に、視覚障害関係団体等の点字出版物を製作した。

### 【成果】

- ① らくさい作業所との連携による、京都市点字広報物の出版。
- ② 京都市の少部数（会議資料等）への迅速な対応
- ③ 京視協支部の点字資料の作成を安価に迅速に対応
- ④ 視覚障害者関係事業所の点字広報を作成

### 【課題】

- ① 点訳者の養成・育成
- ② 納品までのタイトな日程の注文への対応
- ③ らくさい作業所点字部門との連携・体制の見直し。
- ④ 障害者優先調達推進法による受注調整

京都市受注品 → らくさい作業所、それ以外 → 紫野点字社

### 【実績】

|          | 実績（枚）   | 前年比実績（％） |
|----------|---------|----------|
| 製版       | 4,393   | 84.6%    |
| 塩ビ版印刷    | 294,742 | 82.6%    |
| パソコン製版   | 476     | 41.8%    |
| パソコン印刷   | 6,283   | 58.4%    |
| 点字名刺、はがき | 2,482   | 140.2%   |
| 点字シール    | 3,766   | 59.3%    |
| 発送       | 2,051   | 118.1%   |
| 墨字印刷     | 23,573  | 74.4%    |
| 墨字入力     | 2       | 100%     |

## 3. 京都府失明者巡回生活指導員派遣事業

### 【概要】

- ① 本年度も、南丹、乙訓、山城北、山城南の医療圏域の相談活動を展開した。また、関係機関との連携にも力を入れ、利用者発掘と視覚障害啓発へと繋げた。
- ② 新規相談者は高齢者の割合が高く、介護施設などの関係機関と連携した。  
また、地域での制度説明会や便利機器体験会の開催もサポートした。情報を得る機会が少ない、孤立した視覚障害者をなくす活動を行った。

### 【成果】

- ① 補装具・日常生活用具・IT機器の紹介、活用方法についての支援。
- ② 当事者同士の交流、情報交換できる場の提供。
- ③ 傾聴などの心理的サポートによる、日常生活や人間関係の不安軽減。
- ④ 福祉サービス、制度利用の情報提供と行政、関係機関への橋渡し。
- ⑤ 本事業と法人内事務所の広報活動を行い、各市町村との連携が強化された。

### 【課題】

- ① 視覚障害全般の情報収集、相談員のスキルアップ。
- ② 各市町村への本事業と法人内事業所についての更なる周知、広報活動。

### 【実績】

- ① 過去5年間の相談延べ件数比較

| 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 947    | 1186   | 1207   | 1251   | 1090   |

- ② 府内相談会実施状況

| 実施日    | 開催地  | 会場           | 時間          |
|--------|------|--------------|-------------|
| 6月13日  | 木津川市 | 木津川市役所山城支所別館 | 10:30~15:30 |
| 9月12日  | 大山崎町 | 大山崎ふるさとセンター  | 10:30~15:30 |
| 11月15日 | 南丹市  | 南丹市園部文化会館    | 10:30~15:30 |
| 1月16日  | 城陽市  | 城陽市立福祉センター   | 10:30~15:30 |

## 4. 指定特定相談支援事業「障害者相談支援事業所 スマイルサポート」

### 【概要】

- ① 障害福祉サービスの支給決定が円滑に行われるようにコーディネートした。
- ② 洛西寮利用者へピアカウンセリングを実施した。

### 【成果】

- ① アセスメント、サービス等利用計画の作成など、計画相談業務を滞りなく実施できた。
- ② 洛西寮、らくさい治療院と連携することで、利用者は日中活動に支障なく円滑に手続きを進めることができた。
- ③ ピアカウンセリングを全員対象で実施した。順番以外の希望者も並行して行うことができた。

### 【課題】

- ① 各地域の社会福祉資源や独自制度の把握。
- ② 市町村からの受給者証発行が遅れた場合の請求業務。

## 【実績】

### ① 計画相談

| 提供月 | 計画  | モニタリング |
|-----|-----|--------|
| 4月  | 0   | 2      |
| 5月  | 4   | 5      |
| 6月  | 1   | 5      |
| 7月  | 5   | 3      |
| 8月  | 4   | 2      |
| 9月  | 7   | 1      |
| 10月 | 1   | 5      |
| 11月 | 2   | 3      |
| 12月 | 2   | 3      |
| 1月  | 1   | 6      |
| 2月  | 1   | 7      |
| 3月  | 3   | 1      |
| 合計  | 31名 | 43名    |

・ カウンセリング・・・99名（延べ人数）

## 5. 主催行事

### A. 洛西寮まつり

#### 【概要】

毎年多くの方に来場いただき賑わう「洛西寮まつり」であるが、2021年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止とした。

## 6. 共催事業

### A. 第56回白杖安全デー（京都市内）

#### 【概要】

配信期間：2023年3月28日（火）～ 配信中

企画内容：YouTube に視覚障害者の外出の不便、視覚障害者の思いを届けるための映像をアップロードして、広く社会に啓発する。

#### 【成果】

新型コロナウイルス感染防止の関係により、昨年度に続き、動画配信による啓発を実施した。ストーリー性のある、短めの動画とし、多くの方に気軽に閲覧してもらえるように作成した。

## B. 第48回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）

### 【概要・成果】

開催期間：2022年7月30日（土）～31日（日） 午前10時から午後6時

会場：イオンモールKYOTO Sakura館1F センターコート

来場者数：約200名（2日間合計）

内容：体験型企画

#### ① 見え方体験

「世界がこんな感じで見えるんだ」と題したコーナーでは、見えにくい人たちの見え方体験を実施した。委員が手作りしたシミュレーション眼鏡を装着して、会場内を見渡したり、ボウリングゲームを楽しんでいただく中で、視野に狭窄がある状態など、実際に見えづらさを体験する機会となった。

#### ② 誘導方法の体験

「私でも手助けできそう、目の不自由な人の誘導方法の体験」では、限られたスペースではあったが、実際に視覚障害者を誘導していただき、「貴重な経験ができた」と好評だった。また、手引きした視覚障害者と直接お話していただく中で、視覚障害者が移動面で不便に感じていることなどを知っていただく機会となった。

#### ③ 点字体験

「あ、初めてでも読めた！点字体験」では、点字を実際に読んでいただき当事者スタッフとの交流を図った。多くの啓発活動で、点字を書く機会があっても、なかなか読むことに挑戦する場面は少なく、新たな取り組みであった。視覚障害者にとって大切な文字である点字について、その仕組みをご説明した後、イラスト入りのカードに書かれている点字を、一覧表を確認しながら実際に読んでもらう機会となった。